

<b>72・UNIT シリーズ</b>		
<b>取扱説明書</b>	L-Bus 接続用	形 式
	<b>通信ユニット</b>	<b>72LB2-NB</b>

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

- ・本器は一般産業用です。安全機器、事故防止システム、生命維持、環境保全など、より高い安全性が要求される用途、また車両制御や燃焼制御機器など、より高い信頼性が要求される用途には、必ずしも万全の機能を持つものではありません。
- ・安全のため接続は電気工事、電機配線などの専門の技術を有する人が行って下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

- ・通信ユニット (本体+ソケット).....1台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうかスペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

コンフィギュレーションはPCにて行います。詳細は、コンフィギュレータソフトウェア (形式: 72LB2BLD) の取扱説明書をご参照下さい。

コンフィギュレータソフトウェアは、弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

## ご注意事項

### ●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。  
交流電源: 定格電圧 100 ~ 240 V AC の場合  
85 ~ 264 V AC、47 ~ 66 Hz、約 10 VA

### ●取扱いについて

- ・ソケットから本体部の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。

### ●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -5 ~ +55℃ を超えるような場所、周囲湿度が 20 ~ 70 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
- ・配線などで本体の通風口を塞がぬようご注意ください。

### ●配線について

- ・誤配線は機器に損傷を与える可能性があります。
- ・配線は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
- ・他のネットワークとの混在は、誤動作の原因となることがあるため避けて下さい。

### ●その他

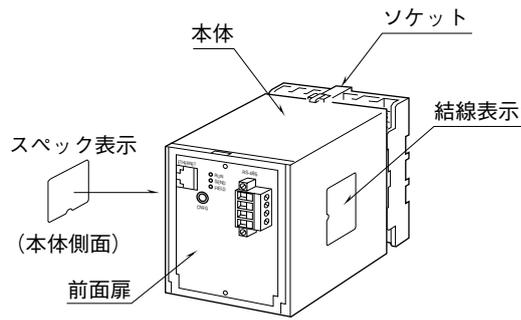
- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

## ステーション番号設定用スイッチ

本体前面に、0 ~ F までのアドレス番号を設定するディップスイッチがあります。

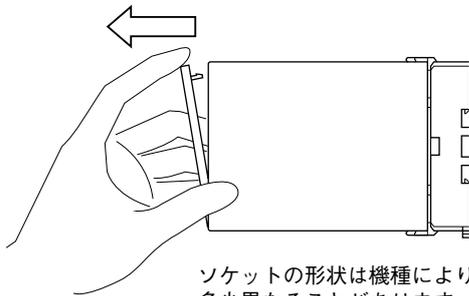
同一 L-Bus に接続できる L-Bus 製品の台数は、合計 16 台までです。ステーション番号が重複しないように設定して下さい。

## 各部の名称



### ■前面扉の開け方

下図のように、前面扉上部にあるフックに指先を引っかけて手前に引いて下さい。



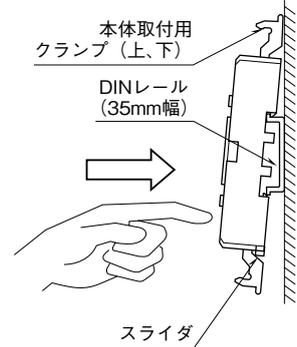
## 取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

### ■DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。ソケット裏面上側のフックをDINレールに掛け下側を押しして下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げその状態で下側から引いて下さい。

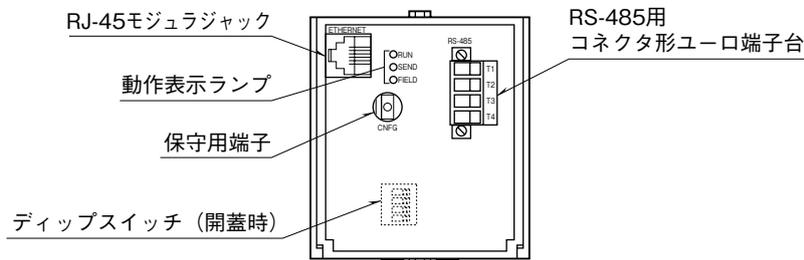


ソケットの形状は機種により多少異なることがあります。

### ■壁取付の場合

外形寸法図を参考に行ってください。

## 前面パネル図



### ■ディップスイッチの設定

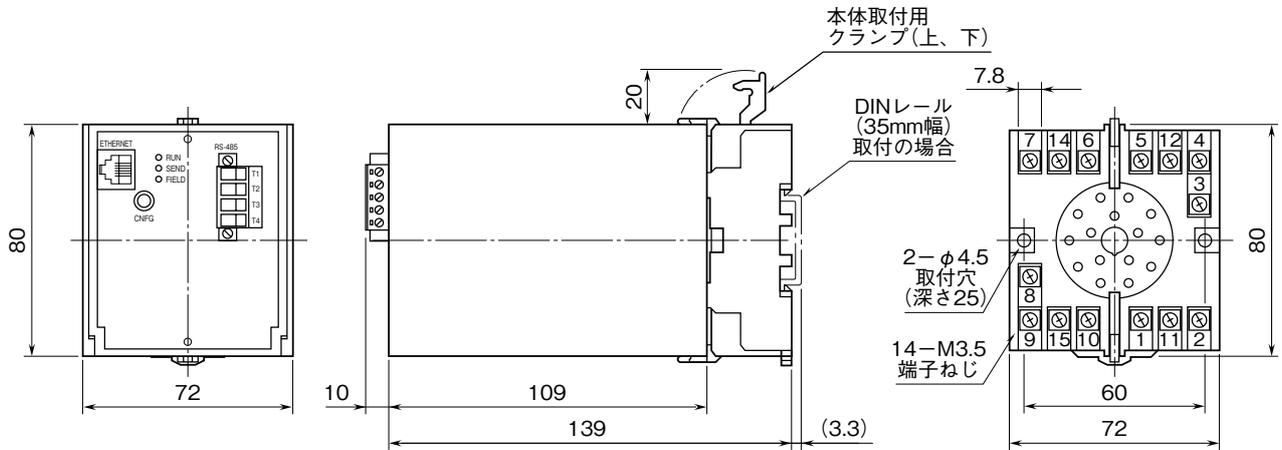


スイッチ番号	ステーション番号															
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
1	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
2	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
3	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
4	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

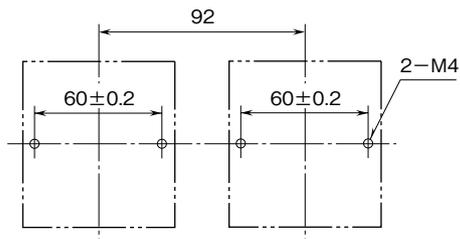
# 接 続

各端子の接続は端子接続図もしくは本体側面の結線表示を参考にして行って下さい。

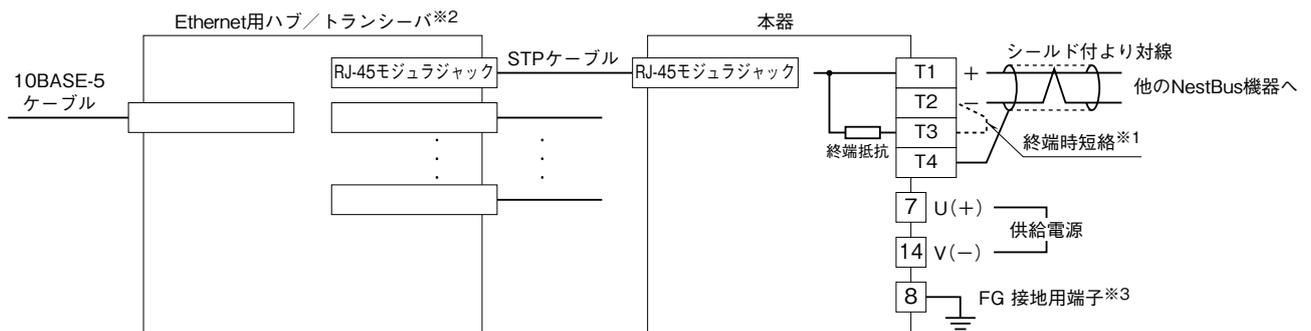
## 外形寸法図 (単位 : mm)



## 取付寸法図 (単位 : mm)



## 端子接続図



- ※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は (= 渡り配線がない場合)、端子T2、T3間を付属のショートチップ (または配線) で短絡して下さい。ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子T2、T3間のショートチップをはずして下さい。
- ※2、Ethernetハブ/トランシーバと本器は同一盤内に設置して下さい。盤外への引出しには10BASE-5ケーブルを使用して下さい。
- ※3、同一盤内に接地して下さい。

---

## 配線

### ■端子ねじ

締付トルク：0.8 N・m

### ■コネクタ形ユーロ端子台 (NestBus)

適用電線：0.2 ~ 2.5 mm<sup>2</sup>

剥離長：7 mm

---

## 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電気機器専門避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意しております。併せてご利用下さい。

---

## 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。